結果票の見方

検査項目		基準値			この検査でわかること	疑われる病気	
		異常なし	要指導	要医療			
体格	BMI	18.5～24.9	18.4以下 25.0以上		体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で算出し，肥満度を判定します。	高	肥満
						低	やせ
血圧	収縮期血圧 mmHg	～129	130～139	140～	血圧が高いと動脈硬化が進行し，心筋梗塞や脳卒中などの危険性が高まる。	高血圧症 動脈硬化	
	拡張期血圧 mmHg	～84	85～89	90～			
血中脂質	中性脂肪 mg/dl	～149	150～299	300～	増えすぎると肥満や脂肪肝の原因になり，動脈硬化を進行させる。	脂質異常症 動脈硬化	
	HDLｺﾚｽﾃﾛｰﾙ mg/dl	40～	35～39	～34	善玉コレステロールとも言われ、余分なコレステロールを回収し、動脈硬化を防ぐ。少ないと動脈硬化が進行する。		
	LDLｺﾚｽﾃﾛｰﾙ mg/dl	～119	120～139	140～	悪玉コレステロールとも言われ、増えすぎると血管の内側にたまり、動脈硬化を進行させる。		
血糖	空腹時血糖 mg/dl	～99	100～125	126～	血液中のブドウ糖のことで、増えすぎると糖尿病が疑われる。	糖尿病	
	HbA1c (ﾍﾓｸﾞﾛﾋﾞﾝｴｰﾜﾝｼｰ) %	～5.5	5.6～6.4	6.5～	過去１～２か月の平均的な血糖の状態を調べる検査。糖尿病が疑われたときの検査として有効。		
腎機能	血清ｸﾚｱﾁﾆﾝ mg/dl				たんぱく質代謝の結果生じた老廃物で，腎機能を調べる。	腎臓病	
	eGFR (推算糸球体濾過量)	60～	45～59.9	～44.9	クレアチニンより精度の高い腎機能の指標で，クレアチニン値を性別，年齢で補正して算出。		
肝機能	AST(GOT) U/l	～30	31～50	51～	肝機能をチェックする代表的な検査。 肝臓に障害が起こると上昇する。	急性肝炎 慢性肝炎 脂肪肝 ｱﾙｺｰﾙ性肝炎	
	ALT(GPT) U/l	～30	31～50	51～			
	γ-GT (γ-GTP) U/l	～50	51～100	101～	肝臓や胆道に障害が起こると上昇する。特にアルコール性の肝機能障害で増加する。	ｱﾙｺｰﾙ性肝炎 慢性肝炎 胆汁うっ滞	
代謝系	血清尿酸 mg/dl	2.1～7.0	7.1～7.9	～2.0 8.0～	プリン体代謝の結果生じた老廃物で，尿酸の産出が多くなったり，排出が低下すると痛風発作の原因となる。	高尿酸血症 (痛風) 動脈硬化	
尿検査	尿糖	－	±	＋～	尿の中に糖が含まれているかを調べる。	糖尿病	
	尿蛋白	－	±	＋～	尿の中にたんぱく質が含まれているかを調べ，腎臓機能の異常を見つける。	腎臓病	
	尿潜血	－	±	＋～	尿中に赤血球が出ているかを調べ，腎臓や尿道，膀胱などの異常を見つける。		